長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ56

6月 今日の一言

５．６．２２　校長　渕上　卓也

クレヨンみたいに、なりたいね

以前にもお伝えしましたが、渕上は絵本が大好きです。普通の本よりも絵本の方がたくさん読んでいると思います。泣いたり笑ったり感動したり・・・絵本の世界に引き込まれてしまいます。５７歳のおじさんですが(^_^;)・・・。

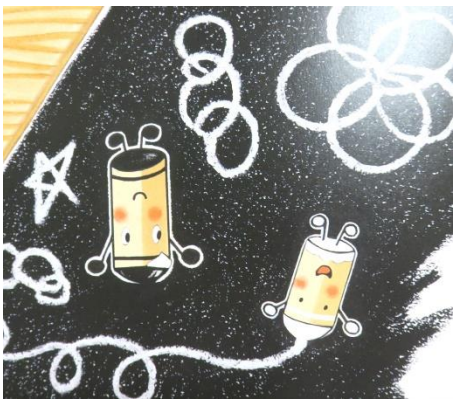
「滑石っ子の心を見つめる教育週間」のスタートに際し、全校集会でお気に入りの一冊「くろくんとちいさいしろくん」（なかやみわ作・絵　童心社）の読み聞かせをしました。校長室に遊びに来た子どもたちにも人気のある絵本で、よく手に取って読んでくれています。

クレヨンのしろくんが仲間とはぐれて困っているのを、他のクレヨンたちがいろいろな方法で「元気付け！！」「励まし！！」、最後はしろくんが無事仲間の元へ帰ることができた、ハッピーエンドのお話です。この絵本の中には「優しさ」や「感謝」、「仲間の大切」や「協力」といった、渕上が「こんな学校になったらいいな！！」と思うキーワードがいっぱいです。５７歳のおじさんでも読んだ後には心がポッカポカになるんですよね。私の読み聞かせは、子どもたちの心に残っているでしょうか？ぜひ子どもたちに、どんなお話だったのか聞いてみてください。

読む度にいつも想像して、ニヤッとしてしまうこと・・・

- ○　クレヨンの箱は、滑石小学校
- ○　クレヨンたちは、滑石っ子
- ○　消しゴムや絵の具、筆やものさしは、保護者や地域の方、先生たち

好きな絵本を読んで、滑石っ子がしっかり聞いてくれて、みんなで「やさしい気持ち」になれて、「しあわせのバケツ」がいっぱいになった渕上でした。

明後日は土曜授業ですね。どうぞ「やさしい気持ち」になりに、学校までおいでください。お待ちしております。

＜今日の一句＞
読み聞かせ
「やさしい気持ち」の
届け物　　卓也